令和 3年度 行政評価事業別シート

		実計対象		評価対象		新規		完了事業		ゼロ予算事業		担当者	宮沢 吉浩
		全体計画						経費区分		_		内線	246-9000
事務事業名		4141	ごみ	処理施設的	管理 事	業							
所	属	121000 市民環境部・生活環境課											
施	策	13011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理											
予算	会計	01	一般	会計									
科目	科目	040202	衛生	費・清掃	豊・清	掃センタ	一費						
件日	事業	020000	ごみ	·処理施設f	亨理 事	業							
事業	目的							事	業概	要・効果			
		心理を安全 Eな管理を			5 <i>†</i> =8)、施設及	び車	両	不通徹原	物の除去などに	- 気を 投入さ	配り、施	に、各種操作や処理 設を大切に使うよう への丁寧な分別指導 軽減を図る。

PLAN-DO

年度実績及び予定

十尺大模ない。た	
令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
清掃センター及び埋立地の適正な管理	清掃センター及び埋立地の適正な管理
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
清掃センター及び埋立地の適正な管理	清掃センター及び埋立地の適正な管理
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
清掃センター及び埋立地の適正な管理	清掃センター及び埋立地の適正な管理

指標名	内部管3	理業務のため指標の記	 设定が闲難である。			
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目 標 実 績					
指標選定 の 理 由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実 績					
指標選定 の 理 由						
最終年度						
目標の根拠						
指標名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	<u>目標</u> 実績					
指標選定						
の理由						
最終年度						
目標の根拠						

事業費 (単位:千円)

1-11-20			(
		令和 2年度	令和 3年度
		決 算	予 算
事業費		1, 771	2, 744
	国庫支出金	0	0
特定	都道府県支出金	0	0
財 源	地方債	0	0
	その他	1	1
一般財源		1, 770	2, 743
人員数	正規職員	0. 2	0. 2
	嘱託職員	0.1	0.0
	臨時職員	0.0	0. 1
	正規職員	1, 393. 6	1, 393. 6
人員	嘱託職員	314. 9	0.0
コスト	臨時職員	0.0	167. 8
	計	1, 708. 5	1, 561. 4
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3, 479. 5	4, 305. 4

(単位:千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳							
主な節	金額	内容					
7節 報償費	2						
10節 需用費	479	消耗品費157、修繕料131、光熱水費 (ガス料) 118、その他73					
12節 委託費	0						
14節 工事請負費	0						
18節 負担金補助及び交付金	0						
その他	1, 290	手数料743、機器賃借料205、汚染負荷量賦課金117、その他225					

(単位:千円)

		(千世:111)
	令和	和 3年度当初予算 事業費の内訳
主な節	金額	内容
7節 報償費	2	謝礼2
10節 需用費	741	【枠配分】消耗品費164、燃料費251、光熱水費(ガス料)396、修繕料170 外
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	30	会議等出席負担金36
その他	1, 971	電話料、ホイールローダー自主検査手数料、洗車場用浄化槽汚泥処理手数 料、電子コピー機リース料など

CHECK

個別評価							
項目	評価観点	評価内容					
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか	普通					
評 価 コメント	施設等の適正な管理を行うため必要な事業である。						
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通					
評 価 コメント	廃棄物の適正処理を行うため、施設、運搬車両等の適正管理に努めた。						
効 率 性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない					
評 価コメント	連絡車、作業用車両運転時に、エコドライブを心掛け、燃料費の削減に努めた。						

振り返り(決算年度の取組み課題)

必要な修繕を実施するなど、施設及び車両の適正管理を実施した。ながの環境エネルギーセンターへ可燃ごみの運搬が必要となり使用頻度も増えたことから、所有ダンプ (23年経過) の更新を引き続き検討しなければならない。

内部評価【二次】 4頁

ACTION

1次評価 2次評価

次年度以降の方向性 進め方の改善(拡大)	次年度以降の方向性 進め方の改善(拡大)		
総合評価コメント	2次評価コメント		
施設の適正管理に努めるとともに、廃止した可燃ごみ	施設の適切な管理に努めるとともに、可燃ごみ処理施		
処理施設の後利用及び老朽化した既存の粗大ごみ処理	設(廃止済)並びに老朽化した粗大ごみ処理施設の今		
施設の今後のあり方について検討を進める。また、所	後のあり方について方針を定め対応していく必要があ		
有ダンプの更新についても検討を進める。	る。		

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	